

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：国内外の震災復興と学際的挑戦ー超分野大喜利で考える未来 ILAS Seminar :Disaster Recovery and Future in Japan and Worldwide: Transdisciplinary Challenges through the “Ogiri” Dialogue			担当者所属 職名・氏名	生存圏研究所 助教 上田 義勝 生存圏研究所 特定教授 桑島 修一郎		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・開講期	2026・前期集中	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中未定	教室	生存圏研究所 本館S棟1階S148室 (生存圏未来開拓研究センター・先端計測技術開発ユニット)(宇治キャンパス)			使用言語	日本語
キーワード	超分野大喜利 / 東日本大震災 / 産学連携 / 学際研究						
[授業の概要・目的]							
本セミナーでは、国内外で頻発する地震、洪水、火山噴火、森林火災などの大規模災害を題材に、理系・文系を問わず多様な分野の研究者や学生が一堂に会し、それぞれの専門的知見や独自の視点を分野横断的に出し合うことを行う。災害復興についての即興的かつ創造的なワークショップ「超分野大喜利」を通じて、従来の学問的枠組みにとらわれない新たな復興支援の方向性を見出すことを目指す。							
[到達目標]							
様々な研究者が、研究分野に関係なく連携した災支援研究を行い、大学・企業が一緒になって現地で活動してきている。本セミナーでは、これらの実際の現場での活動で用いた実際の実験・計測体験を通して、今後各自の専門分野の役割を見直し、将来、大学で学んだ事を活かすためにどのようにすれば良いか、考えていくきっかけにしたい。							
[授業計画と内容]							
京都大学宇治キャンパスにおいて、福島県での復興支援研究で用いた実験設備見学なども行うため、4日間の集中講義形式で行う。実施時期は9月中旬～下旬を予定している。事前学習としては、放射線計測に関する基礎的な知識を、公益財団法人 放射線計測協会のホームページなどで確認しておくことが望ましい。							
第1日) ・生存圏研究所見学 ・生存圏未来開拓研究センターの紹介 ・参加者の研究背景について自己紹介形式で発表							
第2日) ・東日本大震災の概要と、福島県における原発事故について ・現在行われている国内外の連携支援研究(計測機器を用いた実習) ・海外での活動事例紹介							
第3日)							
----- ILASセミナー：国内外の震災復興と学際的挑戦ー超分野大喜利で考える未来(2)へ続く！ -----							

ILASセミナー：国内外の震災復興と学際的挑戦－超分野大喜利で考える未来(2)

- ・超分野大喜利形式による震災対応研究・教育のディスカッション
- ・将来起こりうる連携支援研究の可能性についての議論
- ・各自の専門分野が持つ役割についての紹介

第4日)

- ・専門分野が持つ役割と、その可能性についての議論
- ・グループディスカッションによる連携研究の可能性の検討
- ・全体のまとめ

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席と参加の状況(3回 各10点)、討論への積極的な参加(10点)、レポート(3回、各20点)により評価する。

【教科書】

資料についてはその都度電子ファイル、もしくは印刷媒体として配布する。

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

【授業外学修(予習・復習)等】

放射線計測の一般的な知識について、事前予習しておくことが望ましい。

尚、KULASISやLMS等により事前に授業について連絡する。

超分野大喜利については下記URLを参照のこと。

<https://research.kyoto-u.ac.jp/gp/g064/>

【その他(オフィスアワー等)】

採点成績については、10月以降に報告する。

【主要授業科目(学部・学科名)】